

技術・家庭科学習指導案

日 時 平成21年9月11日(金) 5校時
場 所 1年 組教室
授業学級 盛岡市立仙北中学校1年 組
(男子 名、女子 名、計 名)
授 業 者 教諭 日野杉いずみ

1. 題材名 自分らしく清潔に着る「日常着の手入れ」(A生活の自立と衣食住)

2. 題材について

(1) 教材について

ここでねらうことはA「生活の自立と衣食住」の(3)ウ「衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができること」である。ここでは、衣服を快適に着用するためには、洗濯、しみ抜きなどの手入れや補修が必要であることに気づかせ、衣服材料や汚れの度合いに応じた手入れと、適切な補修を自分自身の手で行えるようにすることを目指している。

中学生の時期は、衣服について「着ること」には高い関心を持っている。テレビや雑誌、友人などから発信されるファッション情報が日常的に入ってくる状況にあり、まねをしたい、おしゃれをしたいという意識が現れてくる時期である。また、親の立場からは、子どもが中学生になって、自立を促すというような意識変化もあると考えられる。この時期の衣服に関する題材は関心・意欲を持たせやすい題材であるといえる。しかし、「着ること」について関心が高い一方で、「手入れや管理」について積極的に関わっていかうとする意識は低い。この題材の学習を通して「手入れや管理」についても意識させたいと考える。

(2) 生徒について

小学校では、日常着の手入れに関する事項として、衣服の手洗いやボタン付けについて学習している。ミシン縫いについては短い直線縫いを使って小物を製作している。

衣生活に関しては小学校とは異なり、制服やジャージを毎日着用する生活スタイルになっている。毎日着るものなので、できれば3年間大事に着用したいという思いを持っている。しかし、長期間着用するには適切な手入れが重要であるが、実際には衣服の洗濯や補修は家族任せになっている生徒が多い。原因は中学生の衣服の手入れに関する意識の低さだけでなく、家族の生活スタイルによるところが大きい。各家庭での洗濯は、家族それぞれが個人で行うより、家族の分をまとめて親が行ってしまうことが多く、洗濯機を使ったことがない生徒もいる。しみ抜きに関しては、しみ抜きという手入れ方法があることを知らない生徒もいる。ボタンやすそのほつれの補修についても洗濯と同様である。また、安価な商品も多く出回っており、補修する手間より買い換える方を選択してしまう生徒もいる。

学習規律については「学習のきまり十箇条」の「6 挙手は手をまっすぐに挙げる」「7 指名には『はい』の返事ですぐに起立する。」は小学校からの指導である程度確立されてきている。中学校ではさらに学習内容を深めるために、「8 大きい声ではっきりと発言する」を意識し、自分の考えを他者にはっきりと伝えることを大事にしていきたい。

(3) 指導について

①「教材とのかかわらせ方」について

着ることと手入れをすることは別々のことではなく、どちらも重要なことである。衣生活をより自分のこととして考え、実践させるそのためには、生徒の興味・関心の高い「着ること」を手がかりとしたい。そのために毎日着用している制服を取り上げ、自分の着用や手入れのしかたを振り返りながら、自分のこととして意識を持たせる。自分たちの経験や資料などを活用して制服の手入れの必要性や方法を考えさせる。制服は毎日洗濯できるものできないものがあるので、「洗濯機による洗濯」「しみ抜き・ブラシかけ」に着目させて考えさせる。また、すそやそでの補修は、「ミシン縫いによるほころび直し」「スナップ付け」をエコバック製作を通して習得させる。

②「友達とのかかわらせ方」について

学習内容を深めさせるためには、自分の考えだけでなく、他者の考えも積極的に聞く姿勢が大切である。しかし、全体の前で自分の考えを発表することが苦手な生徒もいるので、小グループ(3~4人)での交流の場面を設け、その中から自分の考えの正しさを確認したり、自分とは違う考えを知る場面としたい。

本時の場合は、今までの生活経験から考える場面では、話し合いや発表場面で他者の考えを聞くことにより、自分の未経験を補い、自分の考えを深めることにつなげていきたい。

3. 題材の指導目標

《生活や技術への関心・意欲・態度》

- ・衣服材料に応じた日常着の手入れや補修に関心を持ち、実践しようとしている。
- ・手入れや補修の実習に関心を示し、意欲的に取り組もうとしている。
- ・計画に従って作業を進めようとする態度がみられる。
- ・製作意欲を持って、積極的に作業に取り組むことができる。
- ・製作したものを使用しようとする態度がみられる。

《生活を工夫し創造する能力》

- ・衣服を快適に着用するために、手入れや補修の順序や方法を工夫しようとしている。
- ・じょうぶな縫い方を工夫しようとしている。

《生活の技能》

- ・衣服に付けられている表示を見て説明できる。
- ・衣服の材料や汚れの度合いに応じた手入れができる。
- ・補修の目的に適した方法で衣服を補修することができる。
- ・製作計画を立てることができる。
- ・ミシンやアイロンを適切に取り扱うことができる。
- ・洗濯機を用いた洗濯ができる。

《生活や技術についての知識・理解》

- ・日常着の材料の性質について理解している。
- ・補修の方法を理解している。
- ・製作に用いる用具や機械の使用方法がわかる。
- ・洗濯機を用いた洗濯の方法と特徴について理解している。
- ・洗剤のはたらき、衣服材料に応じた洗剤の種類、洗剤の使用量について説明できる。

4. 指導計画（10時間）

日常着の手入れ・・・・・・・・・・10時間

- (1) 手入れのしかたを調べよう・・・・・・・・・・(1) (本時)
- (2) 衣服の手入れと補修をしよう・・・・・・・・・・(9)
 - ①洗剤の使い方と洗濯機を用いた洗濯(1)
 - ②染み抜き・ブラシがけ(1)
 - ③補修に必要な縫い方やアイロンがけ（エコバック製作を通して）(7)

5. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①衣服の手入れについて関心を持って考えようとしている。[生活や技術への関心・意欲・態度]
- ②衣服の手入れの方法を考えることができる。[生活を工夫し創造する能力]
- ③衣服の手入れや補修の必要性について理解している。[生活技術についての知識・理解]

(2) 本時の評価規準と具体的評価規準

| | A十分満足できる | B概ね満足できる | C努力を要する生徒への手だて |
|-----------------|----------------------------------------|------------------------------|----------------|
| 生活や技術への関心・意欲・態度 | 衣服の手入れに関心を持って積極的に考えようとしている。 | 衣服の手入れに関心を持って考えようとしている。 | 個別支援 課題の再説明 |
| 生活を工夫し創造する能力 | 衣服材料に応じた手入れの方法を積極的に考えようとしている。 | 衣服材料に応じた手入れの方法を考えようとしている。 | 個別支援 |
| 生活や技術についての知識・理解 | 衣服を快適に着用するための手入れや補修の必要性を積極的に考え、理解している。 | 衣服を快適に着用するための手入れや補修の必要性がわかる。 | 個別支援 再説明 |

(3) 本時の展開

| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入 13分 | 1 問題提示 ・着用した衣服の変化 2 学習課題の設定 | 1 着用した制服の変化について知っていることをあげる。 ①どの部分にどんな汚れが付くか ②どの部分がほつれたり、傷むか 2 なぜ衣服の手入れが必要なのかを考え、発表する。 ①よごれによる影響 ・衛生面・見た目・機能低下・長持ち ②ほつれ・傷みによる影響 ・衛生面・見た目・機能低下・長持ち・安全性 | ・学習プリント ・制服 ・1図「衣服の汚れ成分」 ・2図「繊維についての汚れ」 ◎ [関心・意欲・態度] ・学習プリント ・観点提示 ・生徒の発言から汚れとほつれ・傷みに分類し、手入れと補修の違いについてふれるようにする。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 衣服の手入れはどのようにしたらよいらうか。 </div> | | | |
| 展開 35分 | 3 課題解決の見通し ・普段の手入れ 4 課題の追求 ・夏の制服の手入れ 5 課題のまとめ | 3 普段自分が行っている手入れのしかたを発表する。 ・夏の制服について 4 夏の制服の適切な手入れのしかたを考え、発表する。 ①夏服 (Yシャツ・ブラウス) はなぜ家で洗濯するのか。 ・素材による ②夏服 (スカート・ズボン) はなぜ家で洗濯しないのか。その場合どうするのか。 ・素材や付いているよごれによる ・店へ依頼・ブラシかけ 5 学習したことをまとめ、発表する。 ・本時の課題・もっと知りたいこと・疑問・実践したいこと | ・学習プリント ・洗濯以外にしていることがあれば取り上げるようにする。 ◎ [工夫創造] ・学習プリント ・①②について個人で考えさせる。その後、小グループ内で交流させ、意見をまとめさせる。 ・教科書P87・1表「繊維の種類と性質」 ◎ [知識・理解] ・学習プリント ・観点提示 |
| 終末 2分 | 6 学習の振り返り 7 次時の予告 | 6 本時の学習への取り組みを振り返りシカードに記入する。 7 次時の学習内容を確認する。 | ・振り返りカード |

(4) 評価

- ①衣服の手入れについて関心を持って考えることができたか。[生活や技術への関心・意欲・態度]
 ②衣服の手入れの方法を考えることができたか。[生活を工夫し創造する能力]
 ③衣服の手入れや補修の必要性について理解できたか。[生活技術についての知識・理解]